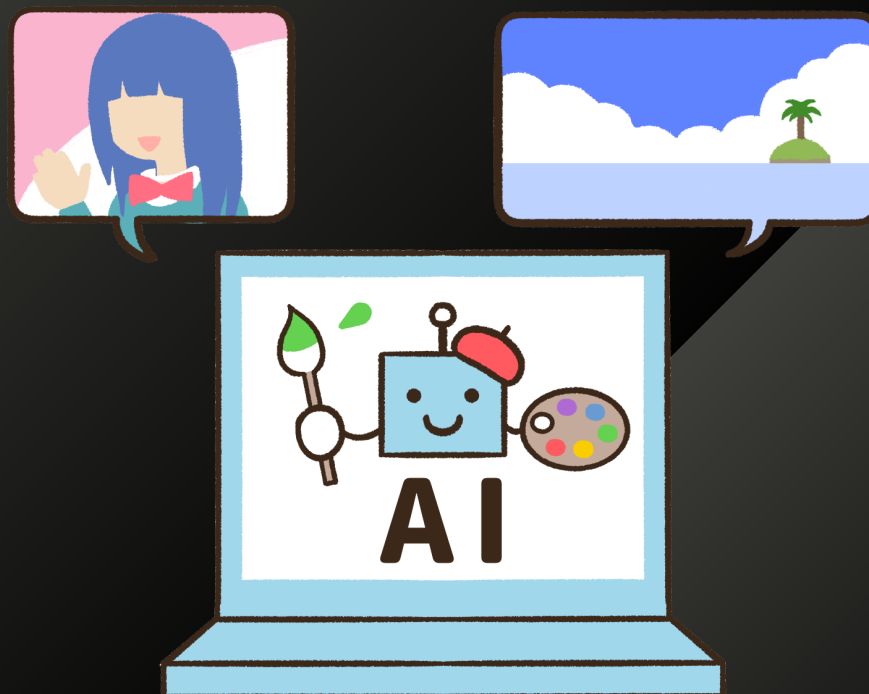


実務で使える

画像生成 AI

の教科書



はじめに

はじめに

特別プレゼント

「【初心者向け】画像生成AI初心者ガイド」

をお受け取りいただきありがとうございます！



はじめに

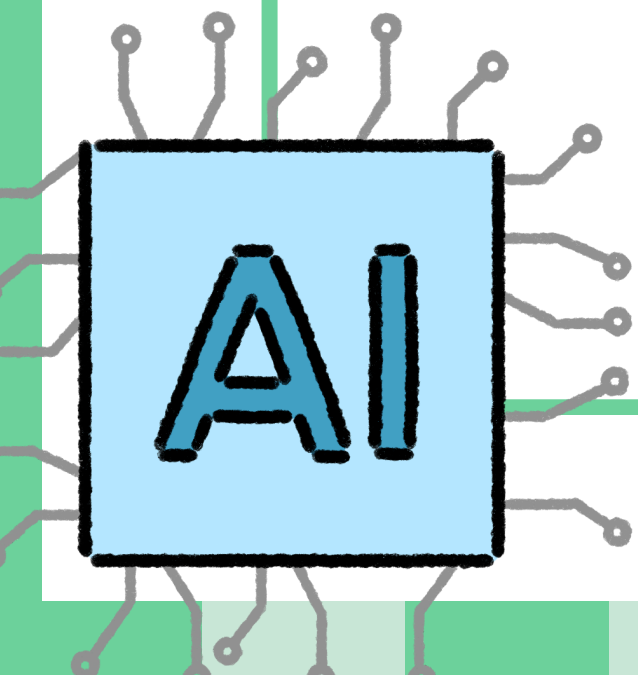
はじめに

本プレゼントは、これから画像生成AIを使いたいと
思っている初心者向けのコンテンツです。

画像生成AIの基礎知識、画像生成AIでマネタイズをする方法、

オススメの画像生成AIの使い方などを

わかりやすくまとめています。



はじめに

画像生成AIとは



画像生成AIとは

画像生成AIとは、

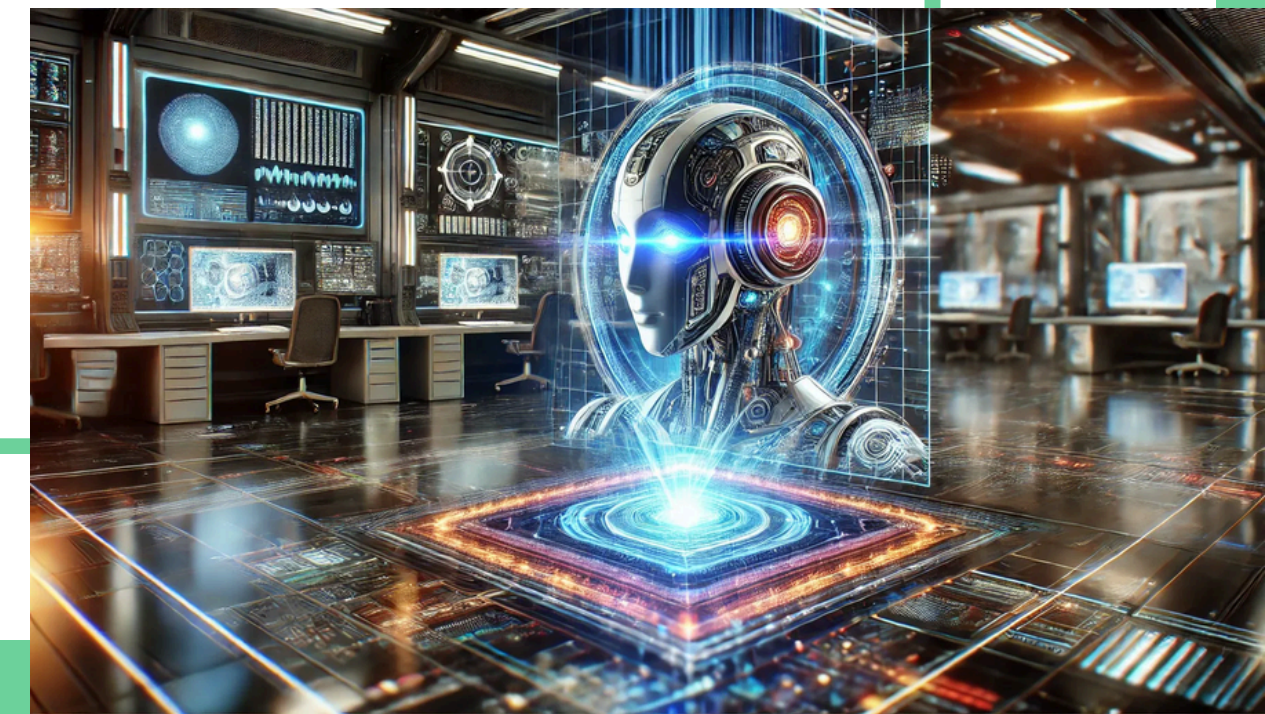
文章中で生成してほしい画像のイラストや雰囲気をサポートするだけで、AIが自動的に画像を生成してくれる生成AIです。

例えば、「**縁側で昼寝をしている猫**」というプロンプトを入力すると、以下のように、縁側で寝ている猫の写真を生成してくれます。

「縁側で昼寝をしている猫」



DALL・E 3で生成した画像



画像生成AIとは

画像生成AIは、

DALL-E 3

Adobe Firefly

CanvaAI

Stable Diffusion

などが有名です。



画像生成AIとは

ほとんどの画像生成AIには有料プランがありますが、一定回数は無料で使えるものが多いです。画像生成をうまく活用することで、アイデアの創出や業務効率化をすることができます。

現在では、デザインやアートなどの**クリエイティブ分野**
マーケティングや、eコマースなどの**ビジネス分野**
など幅広い分野で活用されています。



画像生成AIとは

ほとんどの画像生成AIには有料プランがありますが、一定回数は無料で使えるものが多いです。画像生成をうまく活用することで、アイデアの

画像生成AIの特徴

創出や業務効率化が期待されています。
現在では、デザインやアートなどのクリエイティブ分野

マーケティングや、eコマース分野

など幅広い分野で活用され

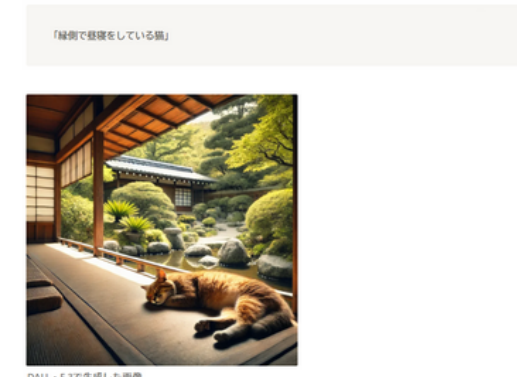


画像生成AIの特徴

1. テキストから画像生成

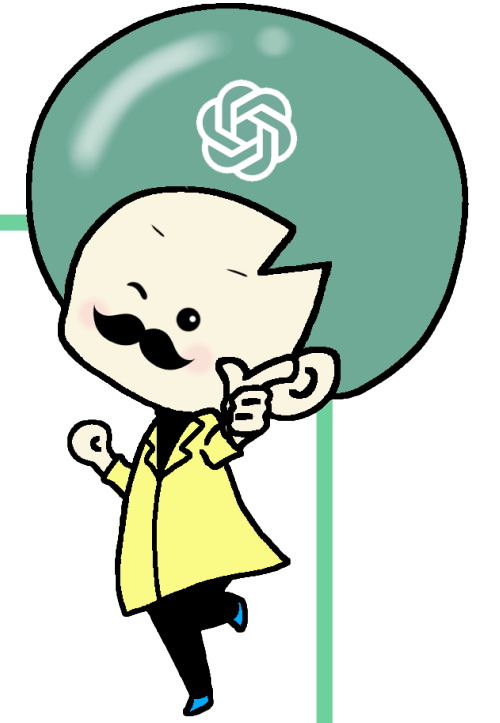
単語や短い文章を入力するだけで、入力したプロンプトに合致した画像を生成することが可能です。

例えば、以下のプロンプトを入力すると、縁側で寝ている猫の写真を生成してくれます。



2. 多様なスタイルに対応

写真・イラスト・アニメ風など、さまざまなスタイルで画像生成をすることができます。



画像生成AIの特徴

スタイル指定は、**プロンプトで指定するタイプ**と、**スタイルを選択するタイプ**の2種類があります。

- **プロンプトで指定するタイプ**

「アニメ風」・「手書き」・「キュビズム」などの画像のスタイルをプロンプトで指定することでスタイルを指定できます。

- **スタイルを選択するタイプ**

画像生成AIの中にスタイルのアイコンが表示されていて希望のスタイルを自分で選択します。プロンプトでスタイルを指定する必要はありません。



画像生成AIの特徴

3.既存の画像を変換できる

既存の画像をベースにしてスタイルを変えたり、新たな要素を追加したりして、画像を変換することができます。

例えば、風景画の写真をアップロードして、以下のプロンプトを指定すると、アニメ風の背景画像に変換することができます。



4.短時間で画像生成ができる

シンプルなプロンプトを入力するだけで、短時間で画像を生成してくれます。画像生成サービスや利用する時間にもよりますが、1枚の画像を生成するのに1枚かかる時間は、30~60秒程度です。

画像生成AIの特徴

5. 継続的に技術が進化している

画像生成AIは、目覚ましい進化を続けています。

以前は、生成される画像のクオリティが低いという問題が散見されましたが、最近では、プロ顔負けの画像が生成することが可能です。画像生成AIが人間の作品と遜色ないものを生成する時代も来るかもしれません。



画像生成AIの特徴

5. 継続的に技術が進化している

画像生成AIは、目覚ましい進化を続けています。

以前は、生成される画像のクオリティが低いという問題が散見

されましたが、最近では、あらゆる種類の画像が生成することが

可能です。画像生成AIは、これまで生成できなかったような色ないものを

生成する時代も来るか



画像生成AIでできること

画像生成AIの進歩により、デザイナーやイラストレーターでない人でもクオリティの高い画像の生成することができるようになりました。
今まで人間がやっていた作業を画像AIに代替してもらうことで、業務効率化を図ったり、アイディアの引き出しを増やしたりすることができます。

1. アイディアの可視化

画像生成AIを活用することで、アイディアを可視化することができます。
記事の見出し画像や新商品のイメージ画像など、頭に思い浮かんでいるアイディアを画像にしてアウトプットすることが可能です。



【プロンプト】

生成AIの発展をイメージする画像を生成してください。

【生成された画像】



画像生成AIでできること

2.既存の画像を編集する

画像生成AIは、プロンプトから新しい画像を生成するだけでなく、既存の
写真やイラストの加工・編集も可能です。

- **スタイルの変換** : 写真をアニメ風イラストにする
- **画像の修復** : 写真をアニメ風イラストにする
- **画像の合成** : 複数の画像を組み合わせて合成する

例えば、花の写真を水彩画風のイラストに変換することができます。

元画像



水彩画



画像生成AIでできること

3. デザイン作業の効率化

今までは、すべて人間がやっていたデザイン作業の一部をAIに行ってもらうことで、デザイン作業効率化することができます。

- **バリエーション豊富な画像生成**

同じテーマでさまざまなバリエーションの画像を短時間で生成できるようになり、デザインのアイデア出しがスムーズになります。

- **イメージに近い画像の検索**

言葉の表現するのが難しいイメージであっても、生成された画像から近いものをを探し出すことができます。

画像生成AIでできること

- ・ **生成されたデザインの修正**

ラフイメージを生成AIに作成してもらい、

人間が細かい修正を加えていくことで、

より理想的なデザインに仕上げることができます。



画像生成AIでできること

- ・生成されたデザインの修正

ラフイメージを生成AIに作成してもらい、

画像生成AIがもたらす未来

人間が細かい修正を加えていくことで、

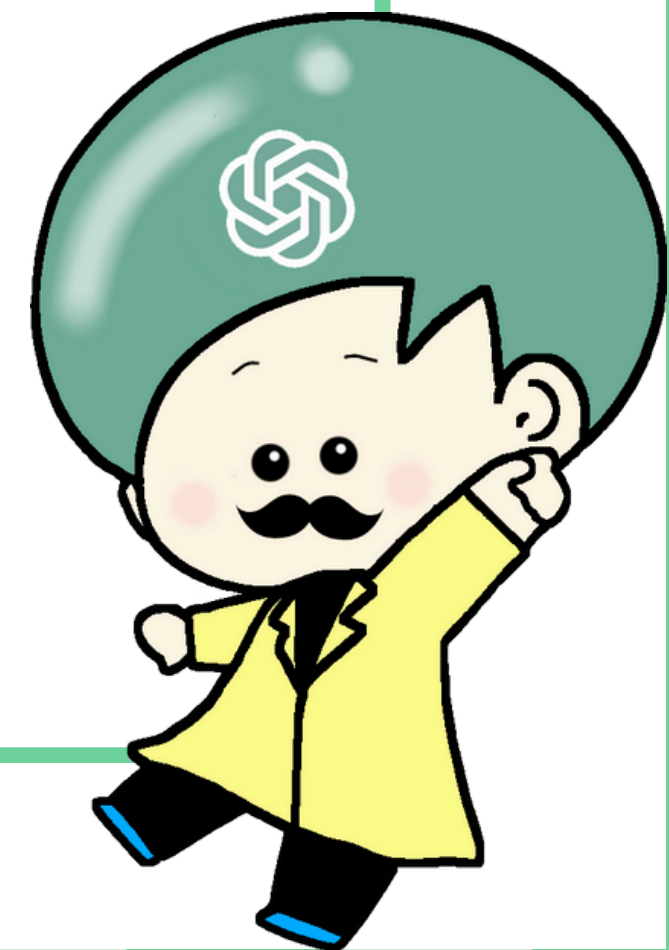
より理想的なデザインにすることが可能です。



画像生成AIがもたらす未来

今後、画像生成AIが発展していくことで、
私たちの生活や社会に大きな変化を及ぼす可能性は
かなり高いでしょう。

画像生成AIがもたらす未来の可能性を
予測してみました。



画像生成AIがもたらす未来

1. 誰でもアーティストになれる時代になる

以前は、イラストやCGを作成するためにはスキルが必要でした。

しかし、画像生成AIの技術のおかげで、誰でも簡単に自分が

イメージした作品を作ることができるようになりました。

AIと人間の創造性が融合することで、今までにない新しい

芸術作品が生まれる可能性も大いにあるでしょう。



画像生成AIがもたらす未来

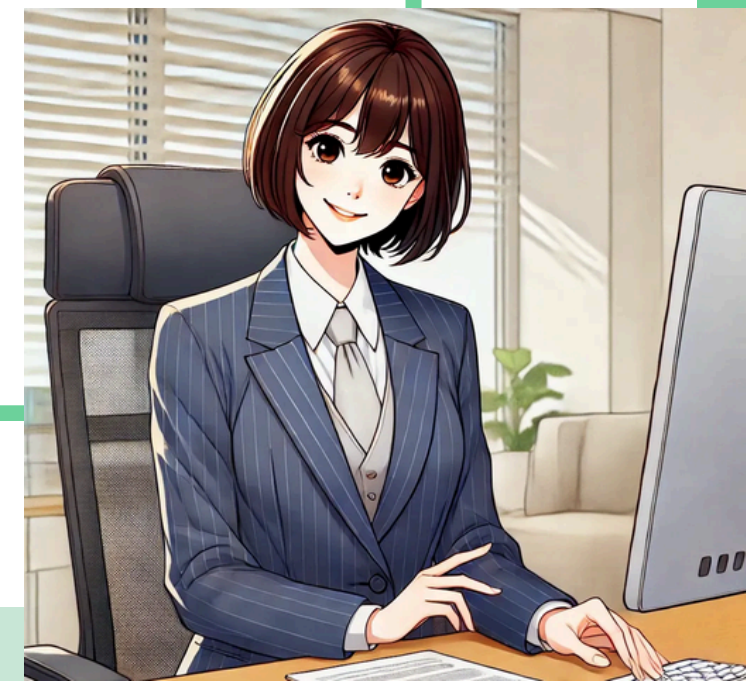
2.コンテンツ制作が加速する

記事の見出しやSNS投稿に使う画像も簡単な文章で指示するだけで、

AIが自動的に画像を生成してくれるようになりました。

プロのデザイナーに依頼するよりも、はるかに低コストかつ、短時間で多くの画像を作成することが可能です。

また、商品の広告画像やプレゼン資料に使う画像に作成できるため、業務効率化にもつながっています。



画像生成AIがもたらす未来

3. 新たなビジネスモデルが生まれる

画像生成AIの進化により、さまざまな業界でビジネスモデルが生まれています。具体的な実例を3つ紹介します。

このほかにも画像生成AIからさまざまなビジネスモデルが誕生しています。



画像生成AIがもたらす未来

- ・ 広告画像の自動生成

広告のターゲット層や商品に合わせて、さまざまなバリエーションの広告画像を自動生成できるようになり、広告効果がアップしました。

- ・ 学習効果を高める教材の開発

文章だけでは分かりづらい内容をイラストすることで、理解を深めることができます。例えば、「国語の教科書に出てくる小説の登場人物をイラストにする」といったことです。

画像生成AIがもたらす未来

- ・バーチャル試着室の実現

ユーザーがスマートフォンで撮影した写真と試着した衣服をアップロードすると、AIが実際に服を試着しているかのようなリアルな画像を生成できるようになりました。



画像生成AIがもたらす未来

- ・バーチャル試着室の実現

画像生成AIを通して得られる

衣服をアップロードすると、AIが実際に服を試着している

かのようなリアルな画像を生成できるようになりました。



画像生成AIを通して得られるベネフィット

画像生成AIを通して得られるベネフィット

画像生成AIを活用することで得られるベネフィット、
マネタイズの可能性について詳しく解説していきます。



画像生成AIを通して得られるベネフィット

・クリエイティビティの向上

同じプロンプトを入力しても、AIが生成する画像は異なります。

さらに、プロンプトを少しだけ変えると、多様なバリエーション

の画像を生成してくれるので、新たな視点や発想が

生まれやすいです。

人間の感性とAIの多様性を融合させることで、これまでにない

作品を生み出すことができるでしょう。



画像生成AIを通して得られるベネフィット

・コスト削減

今までは、プロのイラストレーターや写真家などに依頼していた画像を生成AIに作成してもらうことで、コストを大幅に削減することができます。広告画像など、大量の画像が必要な場合にとっても効果的です。制作コストだけでなく、画像の作成にかかる時間を大幅に短縮することができるので、人件費を削減することも可能です。



画像生成AIを通して得られるベネフィット

・マネタイズの可能性

画像生成AIが登場したことで、イラストスキルがない方でも、簡単にイラストを生成することができるようになりました。

プロンプトや設定次第で、プロレベルのイラストを生成できるので、イラスト作成やSNSアイコン作成などの案件でマネタイズすることが可能です。



画像生成AIを通して得られるベネフィット

画像生成AIを通して得られるベネフィット

画像生成AIの使い方をマスターした後は、コンサルとして人に教えながら収益を得ることもできます。

マネタイズの可能性は無限大です！



画像生成AIを通して得られるベネフィット

画像生成AIを通して得られるベネフィット

画像生成AIの使い方をマスターした後は、コンサルとして

人に教えながら収益を得ることもできます
画像生成AIツールの種類と特徴

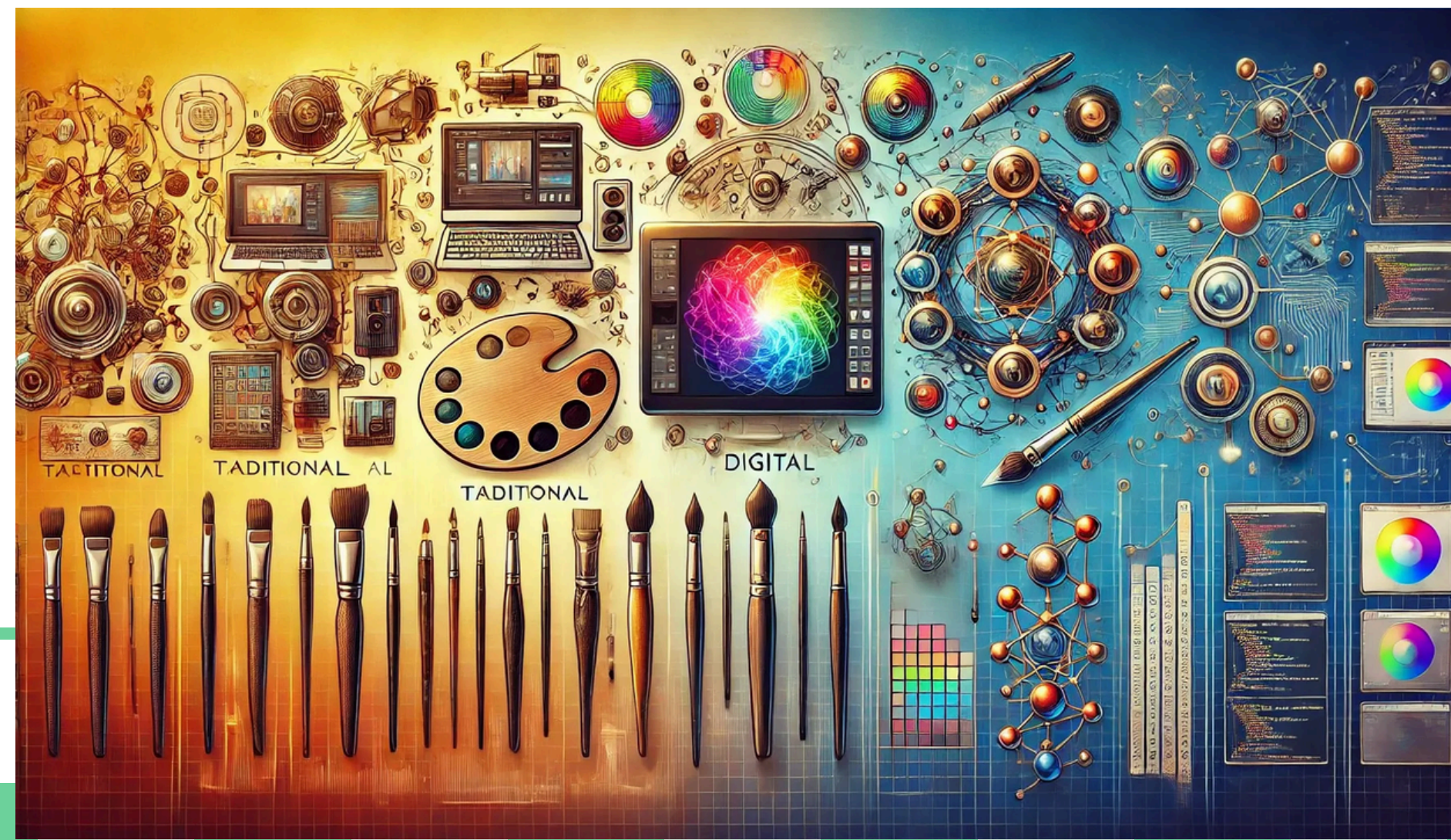
マネタイズの可成り無限大です！



画像生成AIツールの種類と特徴

画像生成AIには、さまざまな種類があります。

今回は、無料で使える画像生成AIモデルを中心に紹介しますので、
参考にしてみてください。



画像生成AIツールの種類と特徴

画像生成AIツールの種類

モデル	DALL・E 3	Adobe Firefly	Stable Diffusion	Midjourney	Gemini
無料プランでの利用	OK	OK	OK	NG	OK
有料プランの金額	20ドル (ChatGPT)	680~7,780円/月	10~20ドル/月	10~120ドル	2,900円/月
無料で生成できる回数	無制限 ※時間あたりの回数制限は有り	25回/月	10回/日 (Stable Diffusion Online) 50回 (Canva)	0回 (なし) ※有料プラン登録が必須	無制限
画像生成にかかる時間	約30秒	約15秒	約30秒	約60秒 (1分)	約10秒
強み	回数制限無し 画像のクオリティが高い	Adobe製品と連携可能 100種類以上の効果がある	プロンプト強度を変更できる 背景削除機能がある	UIが分かりやすい 高度な画像を生成可能	回数制限無し 同時に4枚生成可能
透かし	無し	無し	有り (有料版は無し)	無し	なし
商用利用	OK (ChatGPT) NG (Copilot)	OK	OK	OK (条件あり)	OK
スタイルの指定	プロンプト入力	スタイル選択	スタイル選択	スタイル指定	プロンプト入力
サイズ指定	可	可	可	可	不可
画像生成AIサービス	ChatGPT Copilot	Adobe Firefly	Canva (マジック生成) Stable Diffusion Online	Midjourney	Gemini
日本語プロンプト	入力可	入力可	入力不可	入力不可	入力不可
ネガティブプロンプト	入力不可	入力不可	入力可 ※Stable Diffusion Onlineのみ	入力可	入力不可

画像生成AIツールの種類と特徴

補足

日本語プロンプトが入力不可の画像生成AIでは、
英語でプロンプトを入力してください。

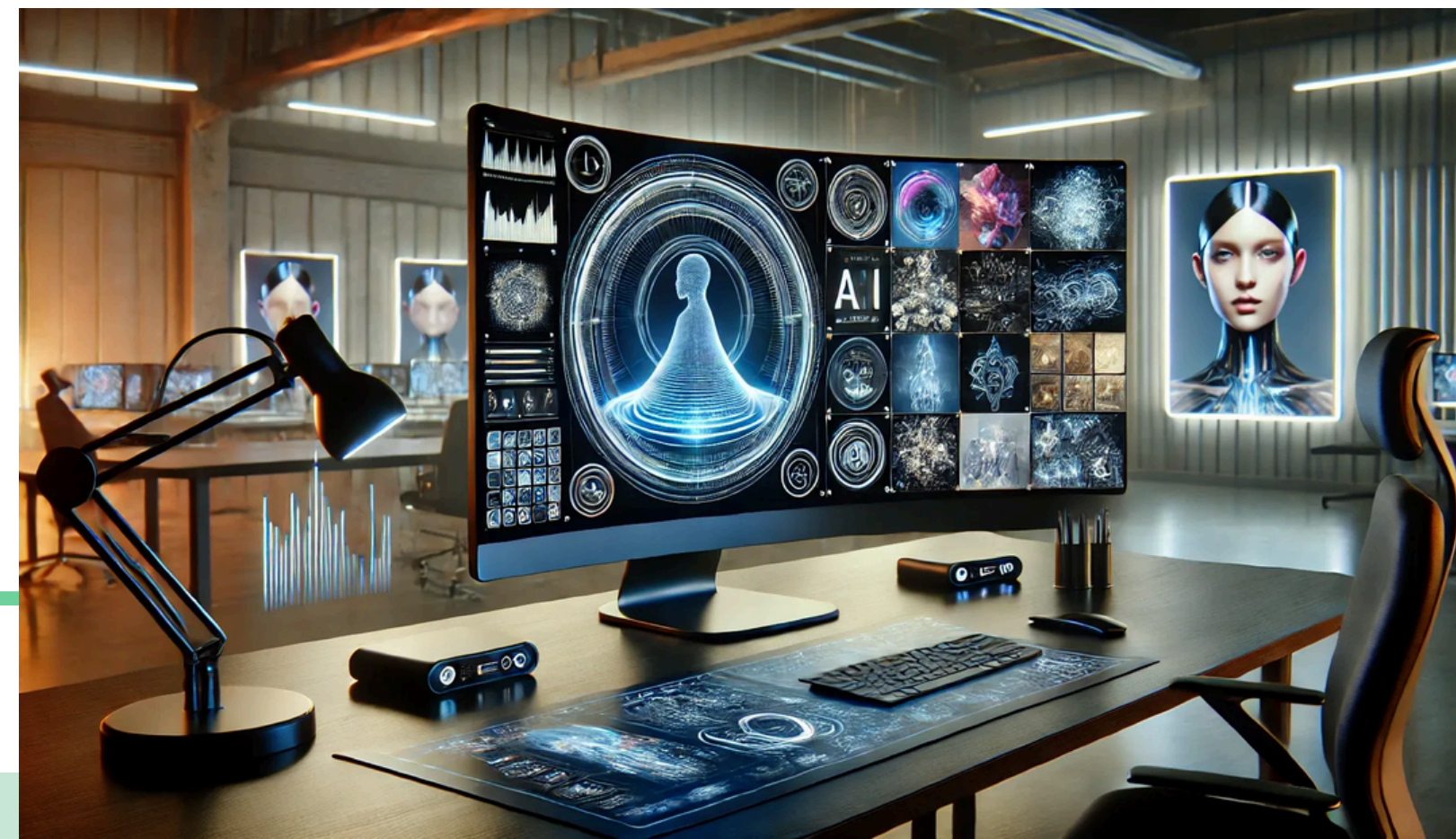


画像生成AIツールの種類と特徴

画像生成AIツールの特徴

画像生成AIツールの特徴を詳しく見ていきましょう。

https://www.canva.com/design/DAGUyXloA1o/8Zzb7PMtLHDwvGIJeZFbTQ/view?utm_content=DAGUyXloA1o&utm_campaign=designshare&utm_medium=link&utm_source=editor



画像生成AIツールの種類と特徴

画像生成AIツールによって特徴が大きく
異なりますので、生成したい画像によって
使い分けることをおすすめします。



画像生成AIツールの種類と特徴

画像生成AIツールによって特徴が大きく

異なる画像の生成AIの仕組みによって

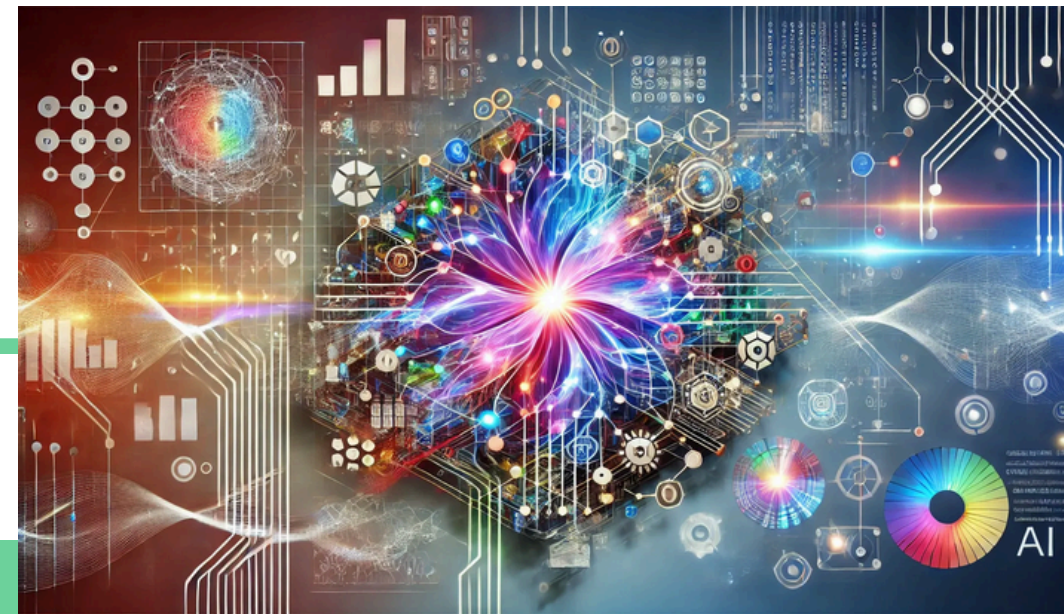
使い分けるおススメします。



画像生成AIの仕組み



画像生成AIは、テキストや画像などの入力情報をもとに、
新しい画像を生成するAI技術です。機械学習の一種である
ディープラーニングを活用しているのが特徴です。
大量の画像データと対応するテキストデータを分析・自己学習
することで、新しい画像を生成することが出来るように
なります。



画像生成AIの仕組み

画像生成AIに使われている技術について詳しく説明していきます。

1. ディープラーニング(深層学習)

ディープラーニングは、最近注目を集めている人工知能の一分野です。

ニューラルネットワークという人間の脳の神経細胞を模倣した

計算モデルを活用することで、大量のデータから複雑なパターンを

自動的に学習することができます。



画像生成AIの仕組み

具体的な流れは、以下のとおりです。

- ・ 大量データの用意

画像、音声、テキストなど、学習させたいデータを収集

- ・ ニューラルネットワークの構築

多層からなる計算モデルを構築

- ・ 自動学習

与えられた入力データから、ニューラルネットワーク自ら正しい答えを出力できるように調節

- ・ 予測

学習済のニューラルネットワークに新しいデータを与えると、データの内容を予測することが可能

画像生成AIの仕組み

2. 拡散モデル

画像データの拡散過程を学習して、ノイズから高品質な画像を生成するモデルです。

ノイズとは、画像にいくつもの色が重なり合った状態であることを指します。



画像生成AIの仕組み

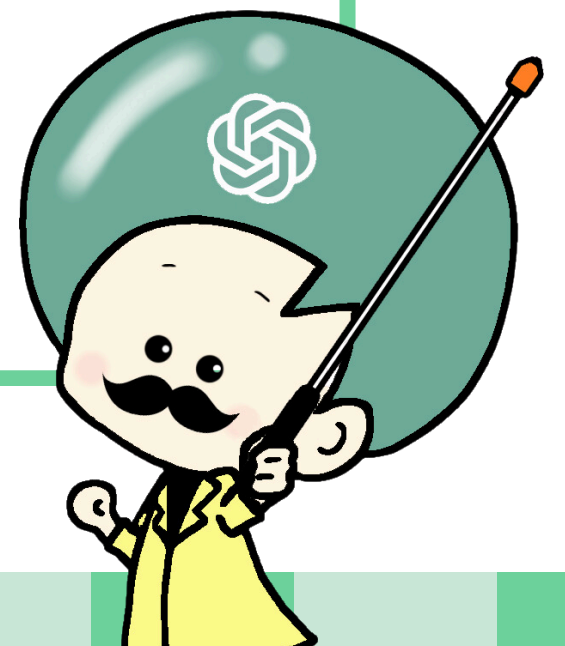
拡散モデルでは、2通りのプロセスがあります。

- 順拡散過程

画像に少しずつノイズを加えて、最終的にノイズだけの状態にする。

- 逆拡散過程

ノイズだけの画面から少しずつノイズを除去し元の画像に近づけていく。



画像生成AIの仕組み

3.GAN(敵対的生成ネットワーク)

生成モデル識別機という2つのニューラルネットワークが、

互いに競い合いながら学習を進めることで、高品質な画像を

生成する技術を指します。



画像生成AIの仕組み

- **生成モデル**：ランダムなノイズから画像を生成する。
- **識別器**：生成された画像が本物か偽物か判別する。



GANは、これまでの生成モデルよりも高品質かつ多様な画像を生成することができます。画像生成だけでなく、画像変換・画像修復などの技術で応用することも可能です。

この他にもさまざまな技術が、画像生成AIに使われています。

画像生成AIの仕組み

- 生成モデル：ランダムなノイズから画像を生成する。
- 識別器：生成された画像が本物か偽物か判別する。



画像生成AIの使い分け事例

GANは、これまで生成モデルよりも高品質かつ多様な画像を生成することができます。画像製紙絵だけでなく、画像変換、画像修復などの技術で応用が可能です。

この他にもさまざまな技術にAIに使われています。



画像生成AIの使い分け事例

画像生成AIは モデルやサービスによって特徴が大きく異なります。

いざ使ってみようと思った時に、どの画像生成AIを選ぶべきか、

迷ってしまう方も多いのではないのでしょうか？

今回は画像生成AIの強みを踏まえて、使い分け事例を

紹介しますので、参考にしてみてください。

画像生成AIモデル	強み	使い分け事例
DALL・E 3	リアルな画像生成 多様なスタイルに対応	広告画像 記事の見出し画像 リアリティを求めるイラスト・写真
Adobe Firefly	Adobe製品との連携がスムーズ 画像編集機能との連携 ベクター画像の生成機能	グラフィックデザイン 写真編集 Adobe製品と連携する作品
Stable Diffusion	スタイルの選択が簡単 高度なカスタマイズが可能	アートやデザイン コンテンツ制作（ブログ・SNSなど） 研究開発分野（医療・自然現象など）
Midjourney	芸術的な画像生成 コミュニティが充実	コンセプトアート ファンタジー系画像 アニメやゲームなどのイラスト制作
Gemini	無料で回数制限なく生成可能	写真風の画像 リアリティの高いイラスト作成

画像生成AIの使い分け事例

1.DALL・E 3

リアルに近い画像を生成できるという強みがあります。
広告画像や記事の見出し画像など、読者の目を惹きつける
画像の生成に適しています。

2.Adobw Firefly

グラフィックデザインや画像の加工に強く、Adobeのソフトウェア
との連携が必要が可能です。Photoshopやillustratorで作成する
グラフィックデザインやチラシ、サムネイル画像の生成に最適です。

画像生成AIの使い分け事例

3. Stable Diffusion

スタイルを自由に選択できるのが特徴であり、カスタマイズ性も高いです。
ブログやSNS用の画像や、教育・医療関係向け資料のイラストなどに向いています。

4. Midjourney

芸術的な作品を作るのに最適な画像生成AIです。
アニメ風のイラスト、ゲームや映画などのコンセプトアートに
おすすめです。

画像生成AIの使い分け事例

5. Gemini

現時点では、ベータ版であり、画像生成に制限はありますが、
生成回数に制限はありません。写真やリアリティの高いイラストを
生成したいときに気軽に試せるので便利です。

画像生成AIになれるためにも、まずは簡単なプロンプトから
試していきましょう！



画像生成AIの使い分け事例

5. Gemini

現時点では、ベータ版であり、画像生成に制限はありますが、

生成回数に制限はありません。写真やリアリティの高いイラストを

生成したときに気軽に試せるので便利です。

画像生成AIのマネタイズ事例

画像生成AIになれるため、最初は簡単なプロンプトから

試していきましょう！





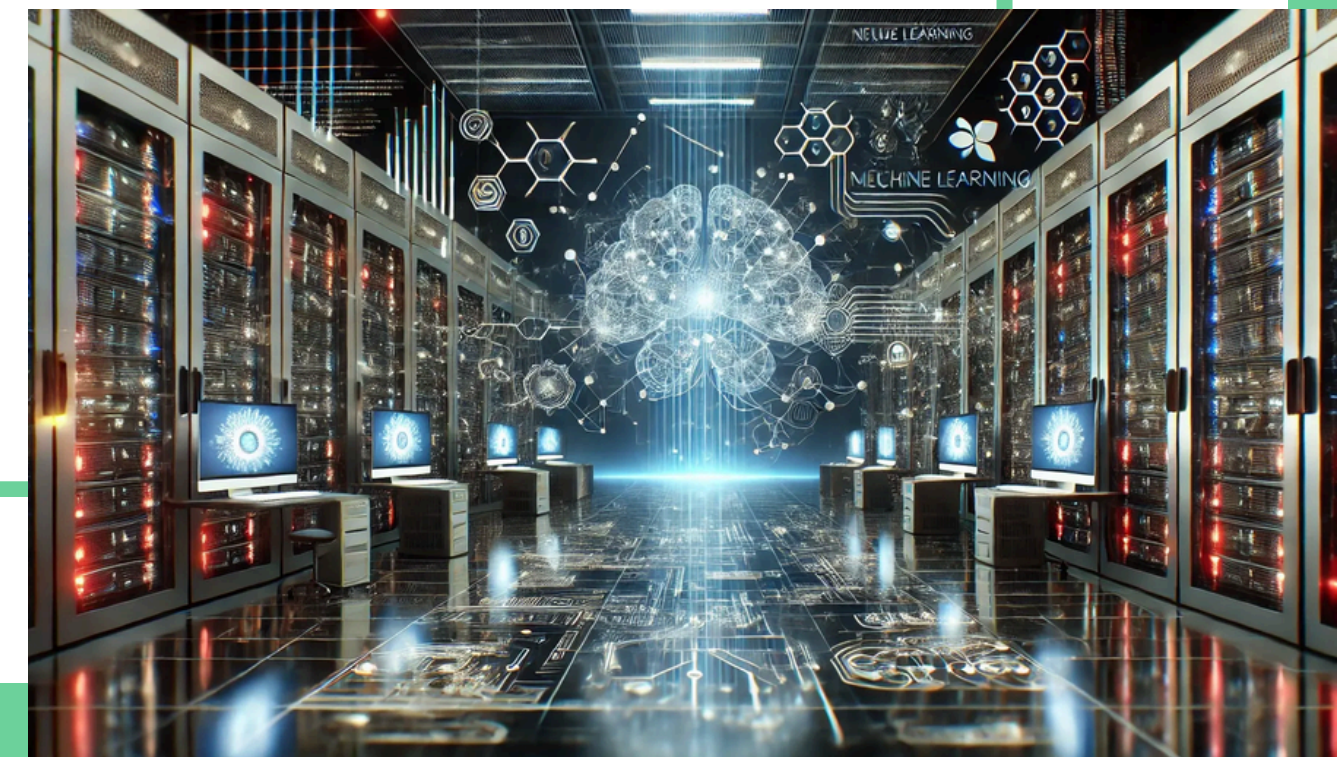
画像生成AIのマネタイズ事例

今回は画像生成を使ってマネタイズに成功した事例を
3つ紹介します。

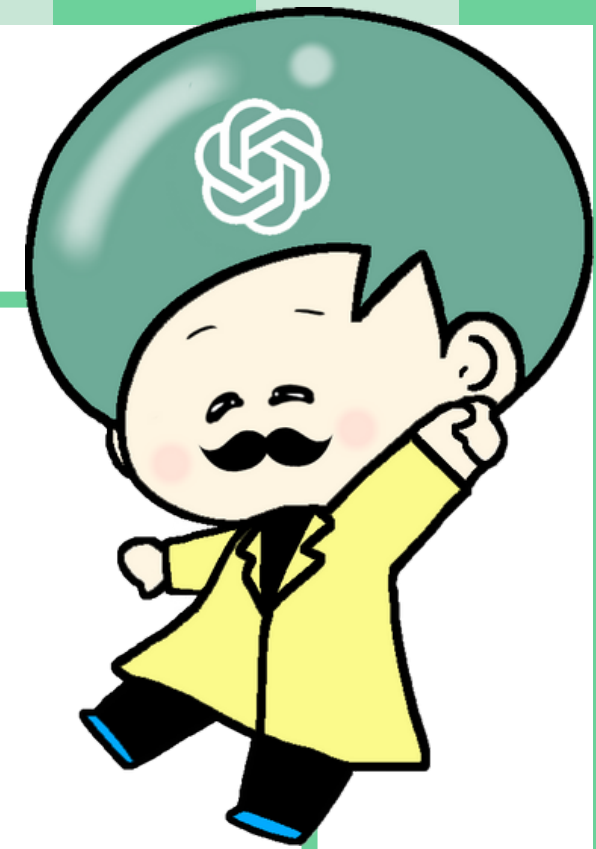
初心者の方でも取り組みやすいものをピックアップしました！

画像生成を使って収益を得たいを思っている方は、

ぜひ参考にしてください。



画像生成AIのマネタイズ事例



1. イラスト販売

画像生成AIで作成したイラストを販売することができます。

以下のイラストサイトではAIでイラストを販売することができます。

※規約が変更される可能性がありますので、必ずご自身で確認してください。





画像生成AIのマネタイズ事例

• PIXTA

ロイヤリティーフリーの写真・イラスト素材サイトです。
ガイドラインを遵守することを条件にイラスト素材に限り販売可能です。

参考：https://pixta.jp/guide/?p=68175&post_type=faq

• Adobe Stock

グラフィックソフトを開発しているAdobe社が運営している画像素材
サイトです。コンテンツに画像生成AIで作成したことを示すラベルを貼る
ことで、販売可能です。

参考：<https://helpx.adobe.com/jp/stock/contributor/help/generative-ai-content.html>

画像生成AIのマネタイズ事例

・イラストAC

高品質なイラストが無料でダウンロードできるイラスト素材サイトです。
著作権侵害がなく、商用可能のツールを使っているなどの条件を満たした場合に販売可能です。

参考：<https://help.freebie-ac.jp/detail/377>

画像生成AIを使えば、1枚あたり30~60枚で画像生成ができるので、どんどん作品を作ってアップロードしていくことで、少しずつ主益を得ることが出来ます。





画像生成AIのマネタイズ事例

2.AIマンガの販売

画像生成AIで作成したイラストでAIマンガを出版する方が増えています。

AIマンガの販売の手順を紹介しますので、参考に見てみてください。

1. アイディア出しとシナリオ作成

ChatGPTやGeminiなどの生成AIにキャラクター設定やストーリーを

考えてもらいます。

読者が満足するシナリオを完成させましょう。



画像生成AIのマネタイズ事例

2. マンガのコマ用の画像生成

Stable DiffusionやMidjourneyなどの画像生成AIを使って、コマ用のイラストを作成します。

アニメ風のマンガを作りたい場合は、イラストに特化した「にじジャーニー」もおすすりめです。

にじジャーニーは、Midlourneyの有料プランに登録していれば、追加課金なしで利用可能です。



画像生成AIのマネタイズ事例



3. マンガ制作

生成されたイラストをコマ割りして、吹き出しや背景を追加していきます。吹き足にセリフを入れて、マンガらしく仕上げましょう。おすすめのAIマンガ作成ツールは、Comic AIです。

4. 出版

マンガが完成したら、電子書籍化して、Amazonなどで販売しましょう。Amazonで出版するときにKindle Unlimited(読み放題サービス)に登録すると、より多くの人に読んでもらえるようになります。

画像生成AIのマネタイズ事例

5.告知

SNSで作品を宣伝して、読者にマンガの魅力を伝えましょう。

アイデアさえあれば、だれでもAIで漫画を描けます。

ぜひいろいろ試してみてください。



画像生成AIのマネタイズ事例



3.コンテンツ販売

情報発信プラットフォームやSNSで画像生成AIに関するノウハウを発信して、収益を得るという方法もあります。

1.note

noteでは、有料記事・メンバーシップ(月額課金)などのコンテンツを販売することが可能です。

生成AIに関する情報は、需要も大きいため収益化のチャンスは大きいです。最初は有料記事を販売して、慣れてきたら、メンバーシップに移行することもできます。



画像生成AIのマネタイズ事例

2.Youtube

毎日アップデートされている、画像生成AIに関する解説動画の需要は
とても高いです。

画像生成AIの最新情報をまとめているYoutubeチャンネルの中には
再生数とチャンネル登録者数が増えれば、収益化ができて、継続的な
収入を得ることが出来ます。

Youtubeは、広告収益だけではなく、自分のWebサイトや商品を宣伝する
ための媒体としても使えるので、ぜひチャレンジしてみてください。



画像生成AIのマネタイズ事例

3. 電子書籍

画像生成AIの使い方やプロンプト集などを電子書籍にまとめて出版するのもおすすめです。

Amazonなどのプラットフォームで販売すると、本が売れるたびに継続的な収入を得ることができます。

文章を書くのが好きな方にぴったりです！

初心者の方が、画像生成AIを使ってマネタイズする方法を3つ紹介しました。この他にも、コンサルティングやオンライン講座など、マネタイズをする方法は数多くあります。ぜひいろいろ調べてみて、自分に合った方法を試してみてくださいね。



画像生成AIのマネタイズ事例

3. 電子書籍

画像生成AIの使い方やプロンプト集などを電子書籍にまとめて出版するのもおすすめです。

Amazonなどのプラットフォームで販売すると、本が売れるたびに継続的な収入を得ることが出来ます。文章を書くのが好きな方にぴったりです！

画像生成AIの使用方法

初心者の方が、画像生成AIを使ってマネタイズする方法を3つ紹介しました。この他にも、YouTubeやオンライン講座など、マネタイズをする方法は数多くあります。ぜひいろいろ調べてみて、自分に合った方法を試してみてください。



画像生成AIの使用方法

画像生成AIツールによって使用方法が大きく異なります。
先ほど紹介した5つの画像生成AIツールの使用方法を紹介しますので、参考にしてください。

https://www.canva.com/design/DAGUygP-TA0/X_jfZn_jQ3cOrW-HQTpKxA/view?utm_content=DAGUygP-TA0&utm_campaign=designshare&utm_medium=link&utm_source=editor



画像生成AIの使用方法

1.DALL・E 3

2.Adobe Firefly

3.Stable Diffusion

4.Midjourney

5.Gemini

まとめ



まとめ

画像生成AIは、文章で指示するだけで、イメージ通りの画像を生成してくれる画期的なAIです。

DALL・E 3・Adobe Firefly・Midjourneyなど、さまざまな画像生成AIサービスがあります。

無料で試せる画像生成AIが多いので、初心者の方でも気軽に始められます。



まとめ

画像生成AIの特徴は、テキストだけで画像生成できること、多様なスタイルに対応していること、既存の画像を変換できることなどです。

アイディアの可視化やデザイン作業など、今まで人間がやっていた作業をAIにやってもらうことで、業務効率化を図ることができます。



まとめ

画像生成AIの発展で、誰もが簡単にプロ並みの作品を作れるようになりました。

今まで以上にコンテンツ制作が加速し、今までにないビジネスモデルが生まれることが期待されており、イラスト販売・AIマンガ出版・情報発信など、マネタイズに成功している事例も多くあります。

画像生成AIを使いこなして、最短でマネタイズしたい方は、実践してみてください。

